

2010年12月7日

植物由来ポリエチレンの販売に関する豊田通商との提携について

日本ポリエチレン株式会社(本社:東京、社長:村上永一、以下「JPE」)は、豊田通商株式会社(本社:名古屋市、社長:清水順三、以下「豊田通商」)が南米最大の化学メーカーBraskem S.A.(本社:ブラジル国サンパウロ市、最高経営責任者:Bernardo Gradin、以下「ブラスケン」)より輸入するブラジル産サトウキビを原料として作られるポリエチレン(以下「植物由来ポリエチレン」)の販売に関して、両社が提携することで合意致しました。

植物由来ポリエチレンは、CO₂削減に大きく寄与すると同時に、既存の加工設備・リサイクルシステムをそのまま活用できる素材として、様々な用途での利用が期待されています。

JPEは、植物由来ポリエチレンの利用は環境問題に寄与すると同時に、将来におけるポリエチレンの可能性をより高めるものと考え、植物由来ポリエチレンの速やかな普及に積極的に協力することと致しました。

JPEは、植物由来ポリエチレンの各種の用途及び成形において必要とされる成形支援等、各種のテクニカルサービスへの協力を行います。同時に、植物由来ポリエチレンがより多くの用途でより容易に使えるようJPEが保有するポリエチレン樹脂およびポリエチレンの成形加工に関するノウハウを活用して、JPEとして植物由来ポリエチレンをベースとした製品の開発・販売を実施致します。

以上

【本件についての問い合わせ】

日本ポリエチレン株式会社 総務部 (TEL:03-6414-4300)